

消化管の癌の治療

現在消化管の癌の治療には様々な方法があります。

1. 食道癌：癌のステージ（進行の程度）と各患者さんの持病を個別に検討させて頂いた上で、下記治療方法の中から選択いたします。
 - 1) 内視鏡治療のみ
 - 2) 内視鏡治療＋化学放射線治療
 - 3) 手術療法（当院外科へ院内紹介致します。）
 - 4) 化学放射線療法
 - 5) 食道拡張術
 - 6) その他

化学放射線療法は、当院放射線科の専門医と連携して治療します。

2. 胃癌：癌のステージ（進行の程度）と各患者さんの持病を個別に検討させて頂いた上で、下記治療方法の中から選択いたします。
 - 1) 内視鏡治療
 - 2) 手術療法（当院外科へ院内紹介致します。）
 - 3) 化学療法
 - 4) その他

3. 大腸癌：癌のステージ（進行の程度）と各患者さんの持病を個別に検討させて頂いた上で、下記治療方法の中から選択いたします。
 - 1) 内視鏡治療
 - 2) 手術療法（当院外科へ院内紹介致します。）
 - 2) 化学療法
 - 3) その他

4. 消化管の内視鏡治療

ここでは、各消化管癌の内視鏡治療について説明します。

特に当科の消化管グループが得意とする分野は以下です。

* 早期胃癌に対する内視鏡治療：

小さな病変では、内視鏡的粘膜切除術（EMR）

大きな病変では、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

* 大腸腫瘍・ポリープ・早期大腸癌に対する内視鏡治療：

ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術（EMR）

* 表在食道癌に対する内視鏡治療：

内視鏡的粘膜切除術（EMR）

わが国において、早期消化管癌に対する内視鏡切除は根治治療として広く普及してきています。この治療法は、体へ負担が小さく、臓器の機能が温存できますので、優れた治療法であることはいまでもありません。この治療法が確立する以前は、早期癌であっても外科手術が行われていました。しかし、リンパ節転移がない早期癌は内視鏡切除による局所（病変）の切除で根治（完全に治る）できるので、技術的問題を除けば外科切除は必要ありません。

また、当科で独自に開発し、製品となって全国の病院で使われている手術道具もあり、熱心に取り組んでおります。

文責 久米恵一郎